

北西側住宅地区の目指すべき姿（=まちづくりの目標）

震災に配慮した動線の確保と ゆとりある住環境の保全



現状と課題	将来像（案）（=まちづくり方針）	整備の方針（案）（=建築物及び工作物に関する事項） （=土地利用に関する事項）
<p>【道路について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅に近い箇所や外周道路からの入り口付近は道路幅員が狭い。 ・ 道路幅員の狭い箇所は、緊急車両等が入ることが難しい。 ・ 車とのすれ違いの際に敷地に入っただけでこられるのが困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 狭あい道路の整備を促進し、災害時に道路空間が塞がれないような通りを確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路に面する塀などは、地震などによる倒壊の影響を最小限にするため、基礎の部分を低くし、上部を生垣又はフェンスとするよう配慮する。
<p>【建物や工作物（柵や塀など）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面積の大きい敷地に建物が建っている。 ・ 落ち着いた住宅地が維持されている。 ・ コインパーキングの看板の色彩が落ち着いたものになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 宅地の細分化を防止し、崖線の緑や歴史資源と調和したゆとりある住宅地を形成する。 ● 道路沿いの安全性を高めるとともに、緑ゆたかな街並みを形成する。 ● 旧甲州街道沿道では、住宅地に配慮した用途や高さとし、歴史的面影を継承した建築物とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物等の形態・色彩等は、景観形成基準に沿った周辺環境と調和したものとする。 ・ 道路に面する塀などは、地震などによる倒壊の影響を最小限にするため、基礎の部分を低くし、上部を生垣又はフェンスとするよう配慮する。 ・ ゆとりある住環境にふさわしい敷地規模の確保のため、適切な隣棟間隔の確保を誘導する。 ・ 旧甲州街道沿道の建物は、後背住宅地との高さの調和や敷地緑化等に配慮した建築物を誘導する。 ・ 旧甲州街道沿道の建物は、住環境を保全するため、住宅地にそぐわない用途の建築物を制限する。 ・ 旧甲州街道沿道の建物は、歴史的な面影を継承した意匠や色彩を誘導する。
<p>【居住環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみのポイ捨てが目立つ。 ・ 公園や緑が少ない。 ・ 昔に比べて自然がなくなり、どんどん家が建てられ環境が悪くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑ゆたかな住宅地を保全する。 ● 旧甲州街道沿道は、屋敷地の景観特性に配慮した周辺の住環境との調和を図る。 ● ゆとりある住環境を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物等の形態・色彩等は、景観形成基準に沿った周辺環境と調和したものとする。 ・ ゆとりある住環境にふさわしい敷地規模の確保のため、適切な隣棟間隔の確保を誘導する。